



新入学おめでとう！

小・中学生合わせて491人が新入学

真剣な表情で先生の話聞く新入学生（山田小）



阿蘇市内の各小・中学校で4月9日、入学式が行われ、小学生217人、中学生274人が新入学を迎えました。

山田小学校では、昨年より4人多い6人が入学。緊張した面持ちで入場した児童は、在校生や先生から温かい拍手で迎えられ、在校生を代表して阿部月香さんが「学校には楽しい行事がたくさんあります。みんなで楽しく過ごしましょう」と、歓迎の言葉を述べました。

●新入学児童・生徒数

学校名	新入学 児童・生徒数	全児童・生徒数
宮地小学校	75人	382人
坂梨小学校	10人	64人
古城小学校	7人	57人
阿蘇小学校	41人	256人
阿蘇西小学校	19人	98人
尾ヶ石東部小学校	4人	49人
内牧小学校	45人	313人
山田小学校	6人	43人
波野小学校	10人	60人
(小学校) 計	217人	1,322人
一の宮中学校	110人	272人
阿蘇中学校	154人	430人
波野中学校	10人	38人
(中学校) 計	274人	740人

●新入学児童への寄贈品一覧

寄贈品	寄贈元
傘	阿蘇ライオンズクラブ
帽子	阿蘇一の宮ライオンズクラブ
交通安全腕章	阿蘇市
防犯ブザー	株式会社キューネット、阿蘇警察署
ワッペン	みずほフィナンシャルグループほか
防犯笛	日本マクドナルド株式会社
文具セット	阿蘇地区防犯協会連合会阿蘇警察署
交通安全用品	熊本県トラック協会
防犯蛍光ベスト	阿蘇地区交通安全協会

放課後子ども教室が 活動展を開催

活動のようすを地域の子どもたちに知ってもらおうと、内牧小学校放課後子ども教室が3月14日から23日にかけて、阿蘇街角ギャラリーで活動展を開きました。

放課後子ども教室は、放課後の時間を利用して、学校と地域が連携してスポーツや文化を通して学習を行うもので、現在、市内7か所で実施。今回、72人の児童が取り組んだ活動の写真のほか、さまざまな作品を展示。期間中は150人を超える人たちが訪れました。



同校子ども教室のコーディネーターを務める吉並和浩さんは、「多くの地域の方々に参加してもらい、子どもとの関わりを深めてもらいたい」と話していました。

乙姫神社で春の例大祭



神輿をくぐる子どもたち

乙姫神社（松永勲宮総代）で4月15日、春季例大祭が行われました。
乙姫神社は、昔から疱瘡（ほうそう）を治める神様として崇められており、疫病が流行る時代には、全国各地から参拝客が訪れるなど、歴史ある神社として知られています。
この日は、神社から御飯屋までの2000ほどの間を神幸行列が練り歩き、地元保育園の園児や住民らが神輿をくぐり、無病息災や五穀豊穡を祈りました。
人口減少により、乙姫地区でも神輿の担ぎ手不足が心配されており、松永宮総代は「この伝統文化を地域住民全体で守り続けていきたい」と話していました。

昨年秋からスタートした地域振興ブランド「然」の取り組みを広く発信しようと4月10日、東京都で初めて発表会を開きました。
会場に「然」の活動を紹介する映像やポスター、「然」ブランドの商品などを展示。佐藤市長や地元代表らが、これまでの実績や今後の取り組みを発表しました。
また、併せて都内の会場で、写真展と物産展を開き、合わせて1万7千人を超える来場があり大盛況でした。



「然」写真展のようす

阿蘇「然」の取り組み
東京で発信

少年の健全育成を推進 非行行為などの相談は「少年サポーター」へ



（お問い合わせ）

高宮正行

☎090 - 2500 - 5024

熊本県警は、非行行為を行う少年や、犯罪などの被害に遭った少年の支援活動を行う「少年サポーター」を設置し、少年の健全育成を推進しており、阿蘇市では、高宮正行氏が委嘱を受け、平成20年から活動しています。
阿蘇市において、現時点では対象となる少年はいません。しかし、近年はインターネットによる犯罪被害が危惧されています。高宮氏は「性犯罪や援助交際の助長につながるインターネットサイトが増えており、誰でも閲覧できる状態。ネット犯罪に巻き込まれる青少年が増えているので、保護者などにネット犯罪の恐ろしさを認識してもらおうとともに、『フィルタリング』の設定など、子どもを守る取り組みを徹底してもらいたい」と、注意を促しています。
保護者からの相談も受け付けていますので、お悩みの方はぜひご相談ください。

家族や身近な人との関係を見つめ直し、
人権や差別について話し合う機会を持ちましょう。

人権作文

はじめてのうんどうかい
尾ヶ石東部小学校 1年 工藤雅也

うんどうかいがはじまって、こうし
んをしました。きんちょうしました。
こうしんがおわって、せいれつしまし
た。(大きなこえで「はい」といお
う)と、おもいました。

「二ねん、くどうまさやさん。」
と、よばれました。大きなこえで、
「はい。」

と、いえました。ゆうさんとだいにあ
がるとき、手がふるえました。
かいかいのことばをいえました。じぶ
んのことばは、大きなこえでいえまし
た。ゆうさんがことばをいつてると
き、ママとパパがみえました。ママ

は、うれしそうにわらって、しゃしん
をとっていました。パパは、テントの
なかからみていました。なきそうなか
おにみえました。ゆうさんとふたりで
いうことばも、大きなこえでいえまし
た。さいごに、

「二ねん、くどうまさや。」
と、いいました。だいをおりるとき、
(やっとおわった)と、おもいまし
た。

おひるやすみに、パパとママとみさき
ねえちゃんとありさとりゆうとじゅん
にいちゃんたちで、おべんとうをたべ
ました。たべているときに、かいかい
のことばのおはなしをしました。ママ
とはなしたら、にこにこして、

「とてもじょうずだったよ。」

と、いつてくれました。つぎに、じゅ
んにいちゃんが、

「じょうずだったね。」
と、いつてくれたので、
「そうだった？」

と、いいました。さいごにパパのこ
ろにいつて、
「ぼく、じょうずだった？」

と、ききました。そうしたら、パパ
が、
「じょうずだったよ。」

といつて、あたまをなでてくれまし
た。にこにこしていました。あたまを
なでてもらって、とてもうれしかった
です。

《先生からのコメント》

運動会の開会の言葉を言うこと
になったまさやさんは、いっしょ
に言う、ゆうさんと二人で、毎日
練習をしていました。日頃、お父
さんがリハビリで頑張っている姿
を見て、「すごいな」と感じてい
るまさやさん。そのお父さんに見
てもらい、ほめてもらったことは、
かけがえの無い経験になったこと
でしょう。今後も、家族との関わ
りについて見つめ直すたびに、自
分の成長を感じさせていきたいと
思います。

人権作文

平成25年度 阿蘇市人権作文集「かけはし」より ※学年は平成25年度時点。



阿蘇市シルバー人材センターをご活用ください

4月から一般社団法人として、新たにスタート。

これまで、阿蘇市社会福祉協議会が主体となって運営してきた「阿蘇市シルバー人材センター」が、4月1日から一般社団法人として新たにスタートしました。

シルバー人材センターとは？

地域社会の活性化と自身の生活の充実や生きがいづくりを目的とした、高齢者就労の場の確保と提供を行います。

働く意欲と労働能力のある高齢者が会員となり、経験と技術を生かしたさまざまな仕事を引き受けます。

●会員対象

60歳以上で働く意欲がある人で、困った方の役にたきたい人

●仕事の内容

剪定・草刈り・室内清掃・お墓掃除・窓ふきなど

●仕事の依頼、会員登録の問い合わせ

お困りのことがありましたら、なんでもご相談ください。

▼阿蘇市シルバー人材センター事務局

(阿蘇市社会福祉協議会内)

☎32・11808